



薫風

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.1 令和6年4月17日

令和6年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」
『楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう!』

12名の新入生を迎え、118名の児童による令和6年度明神小学校がスタートしました。

今年度は、「楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう!」をキャッチフレーズとし、子供たちの「なぜ?」や「どうして?」、「やってみたい!」「やってみよう!」という知的好奇心や学習への意欲を大切にしていきたいと考えています。学校は子供たちにとって「ワクワク・ドキドキできる場所」そして「自分自身の持ち味を生かして成長できる場所」であることを合言葉に、子供たちが学習や様々な活動に夢中になって取り組んでいる姿を目指し、職員一同、力を尽くしてまいります。

今年度も保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

4月8日に行われた始業式では、今年度のテーマである「楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう!」についてお話ししました。

令和6年度のスタートである始業式に、皆さんに大切にしてほしいこととお話しします。今年度の明神小学校のテーマは「楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう!」としました。これは、皆さんの「やってみたい!」「やってみよう!」という気持ちや意欲を大切にしていきたいということです。では、なぜこの「やってみたい」「やってみよう」ということが、楽しいや面白いにつながっていくのでしょうか。人間は、大人でも子供でも、「これをやりなさい。」と誰かにやらされることよりも、自分で気づき、自分の考えで行動することの方が、はるかに楽しくて面白い。そして、そのような心持ちで行動すると結果(成果)もでるものです。

そのことについて一つエピソードを紹介します。

自分の娘が小学校1年生の時、補助輪なしで自転車に乗る練習をしていました。何回か練習してもなかなか上達しませんでした。そんなある日、2才年上の長男と私が、二人で10km以上離れた隣町まで自転車で冒険に行ってきた時のことを話すと、娘が突然、「自分も自転車で冒険に行ってみたい。」「明日練習がしたい。」と言ってきました。

翌日は朝から自転車の練習をすることになりました。当然本人は目の色が違います。しばらく練習していると、ふらふらしながらも自転車に乗れるようになり、あっという間に自分で運転できるようになりました。

この結果の違いは何なのか。それは、「冒険に行ってみたい!」「練習がしたい!」という気持ちだったのでないかと思います。「やってみたい」「やってみよう」は楽しく、面白いただけではなく、自分自身を成長させることにもつながります。

今年も皆さんの「やってみたい」「やってみよう」を大切に、たくさん成長して行ってほしいと思います。

ご入学おめでとうございます

4月9日(火)に令和6年度入学式を挙行了しました。12名の新入生は緊張しながらも立派な態度で式に参加できました。担任から一人一人呼名されると「はいっ!」と大きな声で返事をして起立することができ、その瞳は希望に満ちあふれていました。これからの成長がますます楽しみな1年生です。



また、今年度の入学式から全校児童が参加し、校歌の歌声を披露しました。新入生を温かく迎えようと一生懸命校歌を歌う子供たちの姿に感動しました。「歓迎の言葉」では、6年生の小野 夢奈さんが、在校生の代表として、心を込めて新入生に語りかけ、温かい歓迎の気持ちを届けることができました。